



## 自閉症・情緒障がい 特別支援学級が次年度より 開設されます



5 月の全体の保護者会でお伝えしたように、本校は 2027 年度より、新たに「特別支援学級（自閉症・情緒障がい学級）」が開設されます。

この学級は、発達特性や情緒的な課題により、大人数の通常学級では本来の力を発揮することが難しい子どもたちが在籍する学級です。少人数の落ち着いた環境の中で、一人ひとりの歩幅に合わせた「個別最適な学び」を行い、自信と生きる力を育むことを目的としています。

学級の新設にあたり、本校として大切にしたい 2 つの視点をお伝えいたします。

### 1 「共に学び、共に育つ」交流の充実

特別支援学級の子どもたちは、すべての時間を別の部屋で過ごすわけではありません。それぞれの得意分野や状況に応じて、通常学級の授業に参加したり、行事、給食、休み時間などを一緒に過ごしたりします。

お互いの「違い」を自然に受け入れ、助け合ったり工夫し合ったりする経験は、子どもたちにとって、これからの多様な社会を生きるための大きな財産になると確信しています。

### 2 学校全体の教育環境の向上

特別支援学級の開設に伴い、専門的な知識を持った教員が新たに加わります。ここで培われる「分かりやすい授業の工夫」や「過ごしやすい環境づくり（ユニバーサルデザイン）」のノウハウは、学校全体、そして通常学級の指導にも広く還元していきます。すべての子どもたちにとって「通いやすく、学びやすい学校」を目指してまいります。

新しい学級のスタートは、学校全体がさらに優しく、たくましく成長する大切な一歩です。保護者の皆様におかれましては、趣旨をご理解いただき、温かく見守り、支えていただけますようお願い申し上げます。

#### 自閉症・情緒障がい特別支援学級とは・・・

知的な発達に大きな遅れはないものの、以下のような特性や困り感があり、大集団の通常学級では本来の力を発揮しにくい子どもたちが対象です。

- コミュニケーションの難しさ：相手の気持ちを察することや、自分の気持ちを言葉で伝えることが苦手。
- こだわりや変化への不安：予定の急な変更が苦手、見通しが持てないと不安になりやすい。
- 感覚の過敏さ：大きな音やざわざわした場所、特定の刺激がとて苦手で疲れやすい。
- 情緒的な不安定さ：集団の中で緊張しやすく、不安やストレスから気持ちのコントロールが難しくなることがある。

また、子どもたちが安心して、集中して過ごせるように特別な環境調整を行っています。法律上、1 学級の定員は最大 8 人です。「次に何をすればいいか」が一目でわかるよう、写真やイラストを使った予定表を掲示したり、刺激を減らして勉強に集中できるよう、机の周りをパーテーション（仕切り）で区切ることや気持ちを落ち着かせるためのリラクゼーションスペース（クールダウンエリア）を設けたりしています。町田市の中学校では町田第三中学校に続く 2 校目の開設となります。